

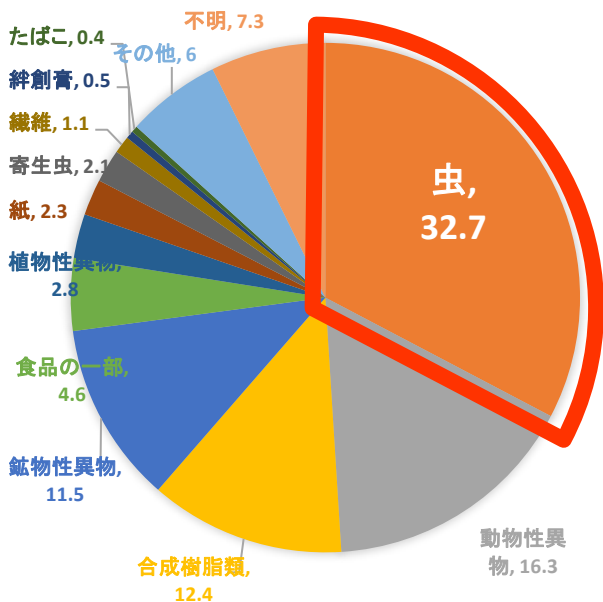


## 害虫の発生要因と対策について

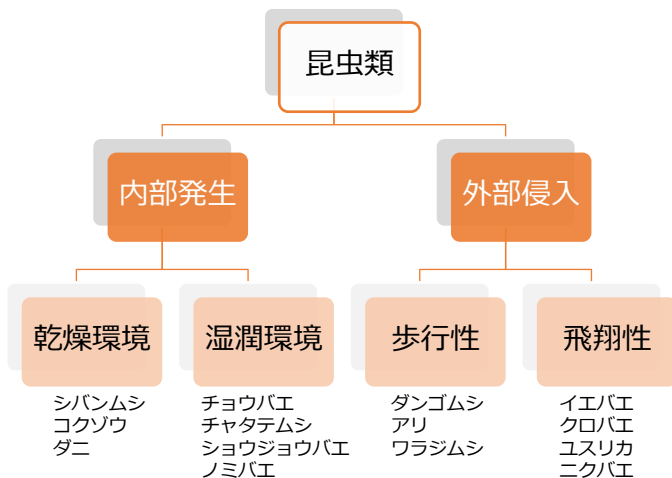
食品の異物混入の苦情要因を見ると、ハエ等の「虫」が混入したことによるものが最も多く、防虫対策が異物混入対策の中で重要な課題となっています。

### ■ 虫の異物混入による苦情

【令和4年度要因別異物混入事例構成比】



【内部発生と外部侵入昆虫の分類】



参照: 東京都一般社団法人東京都食品衛生協会 食品衛生責任者・お知らせ版

### ■ 内部発生の原因と対策

排水溝、壁、床等の有機物の汚れ  
(清掃不良による食品残渣等)や  
カビを餌として生育



### 発生源を除去することがポイント

- ①シンクや床等に溜まっている食品残渣や発生したカビ等、毎日洗浄・清掃を徹底する
- ②排水溝、グリストラップや作業台、冷蔵庫・冷凍庫(調理機械等含む)の下及び背面等、目の届かない箇所は計画を立て定期的に清掃を行う
- ③壁や床、シンクからの水漏れ等の破損箇所の補修を徹底する  
(卵を産み付けていることがある)



# ■外部侵入の原因と対策

## 光による誘引

捕虫器から出る光や、施設内の明かりが屋外に漏れ、その光(青色系)に誘引される



## 臭気による誘引

生ごみ置き場や排水溝、床等の清掃が不十分で発生する臭気及び生ごみの臭気に誘引される

食品自体にも誘引される



## 熱源への誘引

外気温の下がる冬季には、外部の昆虫が寒さを避けるため排気口や温水が流れる排水溝などの温かい場所へと誘引される

また、冷蔵庫など機器類の熱源にも誘引される

## 侵入路を断つことがポイント

- ① 出入口のドアを開放したままにしない
- ② 紫外線をカットするガラス・窓用防虫フィルムを活用する
- ③ 防虫網戸、エアカーテン、二重扉等を設置する
- ④ 捕虫器は光が外に漏れない場所に設置する
- ⑤ 壁や床等、昆虫が侵入する可能性のある破損箇所(穴や隙間等も含む)の補修を徹底する
- ⑥ 施設内の整理・整頓並びに排水溝、グリストラップ、床等は洗浄・清掃を徹底する
- ⑦ 生ごみは蓋付き容器に廃棄し保管する



## ■その他対策

- ① 段ボールは、厨房内に放置せず速やかに片付ける(段ボールは、食材等の運搬で虫が付着・紛れ込むこともあり、また、餌や住処として好まれる。放置した場合は、虫を引き寄せる要因にもなります)
  - ② 施設内の観葉植物は、管理が出来ない場合は設置しない。虫発生の要因になります
- ※昆虫モニタリング(昆虫トラップに捕獲した昆虫を調査し、捕獲場所別の捕虫の種類・生態・数を把握し、虫の侵入経路や発生源を推測すること)や薬剤散布は、専門業者に依頼して行うことをお勧めします。
- 昆虫モニタリングの結果を踏まえて、駆除や清掃などの対策を実施することが需要です

防虫対策は昆虫の発生状況を毎月確認し状況に応じた対策を行う事が重要です。エンバイロサービスでは、害虫駆除対応・環境改善のための清掃を行っています。お気軽にご相談ください。



お問い合わせ先 →

ご質問等ございましたら  
お気軽にお問い合わせ下さい

株式会社エンバイロサービス  
〒060-0005 札幌市中央区北5条西12丁目2  
ベルックス北5ビルA館2階  
TEL : 011-242-8288  
Email : [info@enviro-svc.co.jp](mailto:info@enviro-svc.co.jp)